

道州制ビジョン懇談会における論点整理について

1 現状の課題

- (1) 中央集権体制の限界・東京集中（政治・行政権力、企業本社、マスコミ）、地方の閉塞感・危機感、地域間格差
- (2) 国と地方の役割分担の不明確さ
- (3) 市町村合併の進展による都道府県の役割等への影響
- (4) 地域住民の政治・行政への参加意識の欠如
- (5) 財政赤字、少子高齢化等、将来への不安
- (6) グローバル化、アジア諸国の台頭
- (7) 学力低下（人材の劣化）

2 道州制の理念と目的

- (1) 基本認識
- (2) 地方分権（地域主権）社会・分権型国家の実現
- (3) 東京一極集中に対抗できる広域地域経済圏
- (4) 地域住民の政治・行政への参加
- (5) 多様性のある国、活力のある地方の実現
- (6) 国際的次元における地域の重要性
- (7) 広域行政課題の増加
- (8) 国・地方を通じた行財政改革

3 導入のメリットと指摘される課題（問題点）

- (1) 考え方
- (2) メリット
- (3) 指摘される課題（問題点）

4 道州制が目指す国の姿

5 道州制と国家の統治機構との関係

- (1) 政治制度
- (2) 中央政府の縮減・再編、地方支分部局の廃止

6 国と地方の役割分担

- (1) 役割分担の基本的考え方
- (2) 国の役割
- (3) 道州の役割
- (4) 基礎自治体の役割
- (5) 国と道州、道州間の調整等

7 道州のあり方

- (1) 道州は地方自治体であること
- (2) 自立可能な道州であること
- (3) 道州の個性と競争

8 道州の組織・税財政制度

- (1) 道州の組織
- (2) 道州の税財政制度

9 道州の区域

10 道州制の導入（実現）プロセス

- (1) 進め方
- (2) 移行方法
- (3) 検討機関
- (4) スケジュール

11 道州制特区関係